

「とっとり子育て親育ちプログラム」の改訂にあたって

家庭教育は「すべての教育の出発点」であり、子どもの人格形成やその後の生き方、自己肯定感等に大きく影響を与えるものです。鳥取県教育委員会では、子育てに関する不安や悩みを少しでも解消し、よりよい家庭教育を支援するため、子どもの育ちと共に親自身も育っていく仕組みづくりや、親同士が楽しみながら家庭教育について学び合うことができる参加型プログラムである「とっとり子育て親育ちプログラム」を平成24年に作成し、家庭教育への支援、充実に取り組んできたところです。

本プログラムは、これまで幼稚園・認定こども園・保育所、小・中・義務教育学校等での保護者会、子育てサークル、企業の研修など様々な場において活用いただき、親同士が子育ての悩みについて話し合ったり、子どもとの接し方を振り返ったり、楽しく交流を深めたりする中で、お互いに支え合える仲間づくりを進めてまいりました。

しかし、近年では少子化や核家族化、地域における人間関係の希薄化、SNS等によるコミュニケーションの多様化など、家庭を取り巻く環境が急激に変化しています。また、共働き世帯や子どもの習い事等の増加により親子で過ごす時間の減少、虐待やネグレクト、ヤングケアラー等への対応、SNSによる誹謗中傷、いじめ問題など、様々な課題もあります。

こういった状況の中、子育てについて身近で気軽に相談できる人がいない保護者や、子どもの理解やしつけの仕方に不安を抱く保護者が増加する傾向にあるなど、家庭教育の困難さが危惧されています。

こうした社会状況の変化を踏まえ、今回、新たに子どもとの接し方やメディアとの付き合い方を考えるプログラムを追加するとともに、近年、複雑化、多様化する問題への解決の糸口となるよう改訂いたしました。

このプログラムが家庭の教育力の向上や学校や地域における子育て・家庭教育支援につながることを期待しています。

結びに、本プログラムの改訂に御尽力いただいた大分大学大学院教育学研究科清國祐二教授をはじめ、改訂委員の皆様ならびに御協力いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。

令和7年3月

鳥取県教育委員会
教育長 足羽 英樹